令和8年度教職員互助会モニター意見等の概要について

◇ 意見聴取期間　令和8年7月17日～令和8年9月4日

◇ 意見等の概要については以下のとおり

意 見 等	現 行 制 度 の 説 明 等
【１厚生事業】 **(1)厚生事業の周知について** 〇会員は学校業務で多忙のため、内容について広く知らされていない。一部の会員だけでなく厚生事業はどの会員にも公平に利用されるような仕組みであってほしい。 　会誌等で周知されていると思うが、じっくり中身を見ることができない会員が多いと思われる、情報発信はＩＣＴの活用が効果的であること、公平にすべての会員が利用できるような事業を行うことで、他の事業についても周知を図れるなど検討していただければと思う。	〇互助会事業の情報は、ホームページやスマートスクールネット、広報誌「福利ISHIKAWA」などいろいろな形で発信しておりますが、ご指摘の通り、必ずしも会員の皆様にご覧いただけていないということは、課題として認識しております。ＩＣＴの活用も含め、情報提供のあり方を引き続き検討してまいります。 　なお、４月に会員の皆様全員に配付の「令和８年度施設利用券つづり」の表紙に「事業のお知らせ」の二次元コードを掲載、裏表紙に互助会ホームページのユーザー名・パスワードを記載し、互助会事業の周知を図っているところであります。スマートフォンで読み込めば事業一覧を確認できますので、こうした取り組みを会員の皆様に周知してまいります。
(2)施設利用について 〇補助券の事業は大変有難い。今後も継続していただきたい。	〇ご利用いただきありがとうございます。今後も会員のニーズを踏まえながら、事業内容の充実に努めてまいります。
〇中人や小人がいない場合、補助券が大人の分しか使用できない。小人３枚券で大人１枚分、中人２枚券で大人１枚分などと利用できると嬉しい。	〇幅広い年齢層や多種多様の趣味等を持っている多くの会員にできるだけメリットを享受してもらうため、ある程度種類を選定しています。「共通利用券」としていますので、その範囲での利用をお願いします。
〇「氏を同じくする親」ではなく「会員の父母」も範囲に入れていただけるようになるとよい。（過去の回答も確認したのですが、枚数の範囲内での使用なので要望としてあげさせていただきます。）	〇今後の事業運営の参考とさせていただきます。
(3)余暇活動支援事業について 〇ローチケbiz+は、手軽に使用でき大変有難い。	〇コンサート、演劇、スポーツ、映画等の多様なエンターテイメントを会員の皆様がそれぞれのライフスタイルに応じて選択・利用できる環境を整備するため、福利厚生サービス「ローチケbiz+」を導入しました。 　より多くの会員の皆様にご利用いただけるよう事業の周知に努めてまいります。
〇コンサートチケットを販売しているところは「ローチケbiz+」だけではないので、「チケットぴあ」や「イープラス」など他のところにも対象を広げてほしい。	〇「ローチケbiz+」は令和８年度の新規事業で、利用件数は増加しているものの、まだまだ会員の皆様に浸透している状況ではありません。このため、さらに新たな選択を増やすことは難しいと考えております。まずは、「ローチケbiz+」の利用者の増加に向け、周知に努めてまいります。

意 見 等	現 行 制 度 の 説 明 等
(4)生活設計セミナーについて ○「ＷＥＢ版生涯生活設計セミナー」 　こうしたセミナーをもっと開催してほしい。夏季休業中に開催となっているが申し込み締め切りが６月だったので参加がかなわなかった。ＷＥＢ版なら回数を増やしたり参加しやすくしたりできるのではないかと思います。教職員生涯福祉財団と交渉していただけるとありがたいです。	○「ＷＥＢ版生涯生活設計セミナー」は、予算200千円で実施しており、回数を増やすと更なる予算の確保が必要になります。セミナーの申し込みは、定員に余裕があれば申込期限を延長し受付を行っておりますが、まずは、ご希望の会員の皆様に申し込みをしていただけるよう、締め切り前の所属所長へのリマインド通知など、セミナー開催の周知に努めてまいります。
(5)健康管理事業について ○厚生事業として人間ドックをしてもらえないでしょうか。毎年、申し込む手間がかかったり、抽選にもれ続けたりすることがあって困っている方が多くいます。	○人間ドックは、公立学校共済組合で実施しておりますので、同様の事業を互助会で実施することは難しいことをご理解願います。
(6)研修旅行について ○「思い出づくりの旅」は、退職年度に「家族と」旅行すると２万円の補助がある一方で「家族とはいけない」とか「一人旅」という形もあるときに、その補助があたらない。どちらも行けるようにしてはどうか。	○今後の事業運営の参考意見とさせていただきます。 　なお、この事業は、会員とその家族の慰労に資することを目的としております。
(7)厚生事業全般について ○どの事業も必要感があり、利用されている方がいらっしゃることから、今後も継続していってほしい。減額されているものもあるが、社会情勢を考えると、いたしかたないと思います。	○予算は、過去の実績や利用状況などを踏まえ計上しております。今後も効率的かつ効果的な事業運営に努めてまいります。
○能登地区から離れた開催場所が多い。できれば能登地区で行われるものもあるとうれしい。	○能登に関連する事業としては、現在「震災語り部観光列車の利用補助」や「のと里山ポケモン・ウィズ・ユー空港利用東京１泊２日の旅」、能登方面の施設利用補助などを実施しているところです。現在も地震に伴い休館の施設がございますので、営業再開の情報取集に努めてまいります。
【２給付事業】 **(1)給付事業の周知について** ○たくさん給付事業があることを感謝しています。教職員互助会事業のお知らせは回覧で見た記憶はあるのですが、いろんな書類に紛れて手元にあるかわからない状態です。ホームページからダウンロードして職場の掲示物として貼っておくことにします。特にリフレッシュ給付金の機会を逃さないようにしたいと思います。	○事業の周知にご協力いただきありがとうございます。今後も会員のニーズを踏まえながら、効率的かつ効果的な事業運営に努めてまいります。

意 見 等	現 行 制 度 の 説 明 等
⑵給付事業全般について ○どの給付も有難い。とても感謝しています。	○ありがとうございます。今後も会員のニーズを踏まえながら、効率的かつ効果的な事業運営及に努めてまいります。
○給付事業の公平性についても検討が必要。給付事業の内容はこれまで通りでなく、少子高齢化の進行や、大規模な自然災害、社会情勢の変化を検討した上で、今の時代に必要な内容であるべきだと思う。	○給付事業の内容が時代の変化に合わせ必要な内容であることは重要であると認識しております。例えば令和８年度に創設した「病児保育助成事業」は、会員の子が病児保育施設を利用した際の費用を助成するもので、安心して働き続けられる環境づくりと子育て支援の充実を目的としたものです。 　今後も、会員の皆様のニーズを踏まえながら、ご指摘の内容も念頭に効率的かつ効果的な事業となるよう努めてまいります。
【３新規事業】 **⑴SNSの利用について** ○昨年度、公式ＬＩＮＥ等による情報提供等について検討を重ねるとありましたが、実現可能なのでしょうか。実現させていただけると利用しやすくとても助かります。 ○昨年一昨年のご意見にもあったと思いますが、アプリや公式ＬＩＮＥ等（プッシュ型）の情報提供をぜひ前向きにご検討お願いします。	○公式ＬＩＮＥによる情報提供については、多くの会員に登録していただければ有意義な情報発信手段であると考えております。一方で、事業のお知らせだけでは登録者の確保が難しいことや、セキュリティ対策、個人情報の取り扱いに加え、各種申請のデジタル化など互助会業務の見直しも含め総合的に検討する必要があり、現時点では実現が難しいと考えております。引き続き、ＳＮＳの利用も含め、情報提供のあり方を検討してまいります。
⑵健康管理事業について ○歯科健康診断助成 　市町職員の方に案内が来ていたので良い事業だなと思いました。（石川県市町村職員共済組合の歯科健康診断助成）健康増進にいかがでしょうか。	○今後の事業運営の参考意見とさせていただきます。
○帯状疱疹予防ワクチンの接種助成 　昨年度帯状疱疹になり、激しい痛みが数日間続き、かなり辛い思いをした。年齢が高い人がなりやすいが、ストレスなどで免疫が落ちていると若い人でもなることがあるが、接種費用が高いので、助成制度があるとよい。	○現在実施の「インフルエンザ予防接種助成」は、インフルエンザの発症・重症化及びまん延の予防のため、公立学校共済組合と共催で、委託医療機関のみで実施している事業であります。このため、帯状疱疹予防ワクチンの予防接種を新たに増やすことは難しいと考えております。
⑶演劇等の補助について ○以前、オーケストラアンサンブル金沢の無料鑑賞券があり、大変有意義な時間を過ごすことができたので、復活を希望します。	○オーケストラアンサンブル金沢公演について１件につき1,000円、３回までの観劇補助を行っていましたが、「ローチケbiz+」の導入に伴い令和８年度から廃止となり、現時点で復活は考えておりません。 　なお、「ローチケbiz+」は、オーケストラアンサンブル金沢の公演チケットをはじめ、演劇、スポーツ、映画等多様なエンターテイメントを会員の皆様がそれぞれのライフスタイルに応じて選択・利用できものでありますので、多くの会員にご利用いただけるよう周知に努めてまいります。
⑷能登を支援する事業について ○災害はどこにでも起こっており、能登地震、豪雨災害からの復旧、復興は全国から注目されている。ポケモン等の効果により復興が広がっている今、能登を支援するためには、石川県内からの支援が必要である。能登で行われるイベントの補助、能登での宿泊補助など、能登に人が集まるような事業があるとよい。	○今後の事業運営の参考意見とさせていただきます。 　なお、能登に関連する事業としては、現在「震災語り部観光列車の利用補助」や「のと里山ポケモン・ウィズ・ユー空港利用東京１泊２日の旅」、能登方面の施設利用補助などを実施しているところです。現在も地震に伴い休館の施設がございますので、営業再開の情報取集に努めてまいります。

意 見 等	現 行 制 度 の 説 明 等
⑸互助会事業全般について ○電子化により全員周知が十分ではないように感じる。特にあんま等の補助は知らない人も多いように思う。年度当初の４月は忙しいため、その時期を避けるなど配付時期をずらし、全員に還元できるようにしたらよいと思います。 ○今回リフレッシュ給付金のことを初めて知った。お知らせは出されていると思うが、学校にいると忙しさでつい目を通すことがなく、会員に周知するのが難しいと思った。	○４月に会員の皆様全員に配付の「令和８年度施設利用券つづり」の表紙に「事業のお知らせ」の二次元コードを掲載、裏表紙に互助会ホームページのユーザー名・パスワードを記載し、互助会事業の周知を図っているところであります。スマートフォンで読み込めば事業一覧（ＰＤＦ）を確認でき、スマートフォンに保存いただければいつでも見ることができますので、こうした取り組みを会員の皆様に周知するなど、互助会事業の周知に努めてまいります。 　また、あんま等の「治療費補助」など各種給付金の請求は事実発生の日から２年以内となっておりますのでこのことについても周知してまいります。
○モニターだけでなく、その都度意見を気軽に言えるような仕組みにすると、幅広い年齢層からいろいろな視点でアイディアも出て、さらによりよい事業になると思います。	○モニターは、会員の意見を聴取し、互助会事業の充実を図るため設置しており、互助会会員から公募により理事長が選任しております。幅広い年齢層にモニターに応募いただきご互助会事業に関する意見を表明していただけるよう制度の周知に努めてまいります。
【４質問等】 **⑴退職互助部事業について** ○退職者会員が減少しているとのこと。時代の流れを考えて長年続けてきた事業を中心に今後、継続か整理すべきか検討が必要	○退職互助部事業は、平成２８年度から新規加入者がなく、令和元年度から新規会員の募集を停止しております。現在のところ事業の見直しは考えておりませんが、引き続き事業の執行状況を注視してまいります。
⑵互助会事業全般について ○アンケートでどのような事業を今現在考ええいらっしゃるかを知りたい。	○現時点では、決まっておりませんが、会員ニーズを踏まえながら効率的かつ効果的な事業となるよう努めてまいります。
○いつも会員の福利厚生の充実のために、たくさんの事業をありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。 ○いつも本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。 ○いつも助かっております。ありがとうございます。 ○よく利用させていただいています。すごく助かるなと思って毎年感謝の気持ちでいっぱいです。本当に幅広く意見を取り入れいろんな方へ配慮されていることが分かります。今後ともよろしくお願い致します。	○互助会事業をご利用・ご理解いただきありがとうございます。今後も会員のニーズを踏まえながら効率的かつ効果的な事業となるよう努めてまいります。